

実践記録

188

シリーズ

「県子連の活動」

新潟県子ども会連絡協議会

1 新潟県子ども会連絡協議会とは

新潟県子ども会連絡協議会は、昭和51年に発足し、今年で38年になります。この間、時代の要請に応えながら、子どもたちの健全で健やかな成長を願い活動を進めてきました。現在の会員数は約7万人です。

公益社団法人全国子ども会連合会に所属し、全国や関東甲信越静地区の子ども会と連携しながら活動を行っています。

県内での主な活動は、加盟市区町村子ども会への情報提供や活動支援、並びにジュニア・リーダー研修会やKYT指導者講習会等の指導者養成を行っています。

2 ジュニア・リーダーの県外研修

ジュニア・リーダーとは、単位子ども会の活動を支援する中学生・高校生のことです。将来の指導者に育ててほしい存在です。



全国子ども会ジュニアリーダー研究集会
(静岡県:国立中央青少年交友の家にて)

3 「子どもの遊びのひろば」

新潟県は、平成16年に大水害や中越地震など度重なる大災害に見舞われました。そのとき、全国各地の子ども会から「被災された子どもたちが元気に遊



お友達と一緒に絵手紙を作ってます。(佐渡)

べますように」との願いをこめた義援金をいただきました。これを基に、始まったのが「子どもの遊びのひろば」です。毎年2会場で遊びの場と機会を提供しています。今年も、新潟市黒崎市民会館と佐渡市佐和田体育館で開催されました。



約200名が参加しました。(佐渡)



母子で参加しました。(新潟・黒崎)

4 KYT初級指導者講習会

KYTとは、危険予知トレーニングのことです。子ども会活動の充実を図るためには、活動中の怪我や事故を未然に防ぐための安全教育が重要です。



柏崎市のKYT講習会



県子連主催のKYT講習会

今年も、講師に柴田俊明氏(公益財団法人 伊藤忠記念財団)をお迎えし、上越市頸城区のユートピアくびき希望館で行いました。参加者は20名でした。各市区町村でもKYT研修会を実施しています。

(文責:板垣)